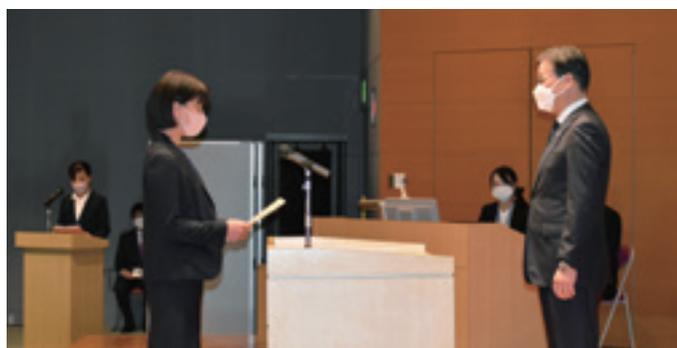


# 文教協会報

No.679

(令和5年5月)

令和5年度 大垣市学校教育指導の方針と重点【概要版】…………… 2  
退職者の言葉…………… 3～6  
令和4年度 大垣市教育実践研究論文 …………… 7～10



令和5年4月6日（木）転入教職員・新規採用教職員のつどい（大垣市情報工房）

# 大垣市第2次教育振興基本計画（学校教育分野）

## 令和5年度 学校教育指導の方針と重点

【概要版】

基本  
理念

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣  
～次代を拓く「人」づくり～

基本  
方針

- 1 夢や目標の実現にむけて、『学び挑戦できる人』
- 2 多様性を尊重し思いやりとたくましさのある、『心豊かな人』
- 3 歴史・文化に触れ、地域とのかかわりを大切にしたい、『郷土愛のある人』
- 4 生涯学び、いきいきと活動できる、『健康な人』

基本  
目標

- 1 主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します
- 2 多様な人々との協働を促し、思いやりの心を持ち、共に支え合う子どもを育成します
- 3 グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します
- 4 豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します

### 【評価指標】

基本目標 1	基本目標 2
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合（％） →目標88.0％</li> <li>2 児童生徒のICT活用を指導できる教員の割合（％） →目標72.7％</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分から進んであいさつをしている子どもの割合（％） →目標89.2％</li> <li>2 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合（％） →目標99.2％</li> </ol>
基本目標 3	基本目標 4
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（％） →目標45.0％</li> <li>2 CEFRAのA1レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合（％） →目標30.5％</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（％） →目標59.6％</li> <li>2 1校あたりの地域人材を活用した人数（人） →目標170人</li> </ol>

### 【令和5年度 学校教育指導の重点】

1 確かな学力を身に付けた子どもの育成	2 思いやりの心を持ち、共に支え合う子どもの育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に学習に取り組む態度」及び「根拠をもって自分の考えを形成する資質・能力」を育成する探究的な学びの充実</li> <li>・学力・学習状況を把握する調査を活用した指導改善の推進</li> <li>・ICTを活用した家庭学習の充実</li> <li>・保幼小連携の推進</li> <li>・小学校からの教科専門性の向上</li> <li>・水都っ子チャレンジ事業による各学校の特色ある取組の充実</li> <li>・指導力向上のための校内研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校いじめ防止基本方針」に則った対策の推進</li> <li>・不登校や問題行動の未然防止と対策の充実</li> <li>・情報モラル教育の充実</li> <li>・道徳教育の充実</li> <li>・人権・同和教育の充実</li> <li>・大垣市「子どもの誓い」を核とした活動の充実</li> <li>・交流及び共同学習の推進</li> </ul>
3 ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもの育成	4 いきいきと活動できる子どもの育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと大垣科」の学習の更なる充実</li> <li>・「大垣市小中学校英語教育構想」の実現を目指した更なるコミュニケーション能力の育成</li> <li>・多文化共生社会の実現を目指す教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期からの継続的支援（特別支援教育）</li> <li>・教職員の働き方改革の取組</li> <li>・健康教育の充実</li> <li>・体力向上を図る学校体育の取組</li> <li>・日本語指導が必要な児童生徒への指導の充実</li> <li>・危機管理体制の充実</li> <li>・地域と学校の協働体制の確立</li> </ul>

# 退職者の言葉

令和4年度をもって大垣市立小・中学校を退職された方々のお言葉を掲載します。皆様に心より感謝申し上げます。

## 興文小学校 渡邊 勝敏

「過ぎてしまえばあっという間」、今はそんな心境です。

教員の道に入って38年、多くの児童生徒、多くの先生との出会いがありました。そうした出会いの中で教え育てられた38年間でした。教員から学んだこと、先輩や同僚の先生から学んだことが心に焼き付いて私の教員生活を支えてくれたと思い、それらの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

「たゆまざる 歩みおそろし かたつむり」

新採で勤めることとなった中学校で、校長先生が私に投げかけられた言葉です。「世には天才と言われる人もいるが、それぞれの道で頂点に登りつめた人の中には、努力で勝ち得た人が何倍も多い。謙虚に学び精進せよ。」と。その言葉を胸に秘め、がむしゃらに歩み続けた38年間でした。

今後の人生第二ステージにおいても、これまでの歩みを止めず精進しつづけたと思っています。これまで大変お世話になりました。感謝多謝深謝です。

## 一之瀬小学校 長井 克義

まずは、38年間の教員生活が無事終わられることに対して、その間に関わっていただいた多くの方々に感謝をしたいと思います。

加茂郡のへき地小規模中学校を振り出しに、35年間は中学校で、そして最後の3年間は初めての小学校勤務となりました。小さな学校で複式学級を知るとともに小規模校ならではのよさを知ることにもなりました。

さて、大垣市内では5校で22年間勤務し、それぞれの学校で、その年代に応じて、色々な校務分掌をいただき、その結果今があると感謝しています。また、高山市の中学校にも3年間勤務しました。雪国の飛騨に生活し、冬の厳しさを体感するとともに、美濃とは違うその土地の文化に触れられたことも自分にとってはよい思い出です。

教員生活の最後を生まれ育った大垣で終われることに感謝するとともに、学校が引き続き子どもたちの大事な居場所として輝き続けられることを願っています。

## 江並中学校 兒玉 努

高校の恩師にあこがれ教員の道を選び38年間、中学校7校、教育委員会5ヶ所に勤務し、様々な貴重な経験をさせていただきました。

学校の主役は子どもです。その中には不登校の子ども、勉強が苦手な子ども、障害のある子ども、問題行動を起こす子どももいます。課題のある子どもには多くの時間をかける必要があります。でも「どの子どもにもだめだというレッテルを張ることなく、切り捨てることなく、向き合っただけが大切だ。」と先輩から教えられ、日々大切にしてきました。また、「最もよい教師とは、子どもと共に笑う教師。最もよくない教師とは、子どもを笑う教師である。」と保護者の方から教えられ、そんな教師になるものかと取り組んできました。しかし、思いとは裏腹に迷惑をかけることが多かったと思います。

そんな中で様々な角度から私を支え、導いてくださった地域やPTA、教職員の皆様、そして日々素敵な成長の姿を見せてくれた子どもたちに心より感謝とお礼を申し上げます。

## 北小学校 早野 美由紀

板書をしている手がふと止まり、「私は何故、ここにいるのだろう。」と不思議な思いにとらわれた38年前。望んで教師になったはずなのに、描いていた教師像とはかけ離れた自分の姿に焦りを感じるばかりでした。そんな私も、子どもたちの明るい笑顔や一生懸命な姿、先生方の温かさに支えられ、何とかやってこられました。ただただ、感謝しかありません。

卒業時に「もっと、先生に心配してもらいたかった。」と手紙をくれたAさん。「こんなに心配しとるのが分からんのか！」と怒鳴った私に「分かるとわ！」と怒鳴り返したC君。子どもたちに教えられることばかりで、後悔は山のごとし。お詫び行脚に旅立ちたいくらいです。

新採の年、ハレー彗星を観に深夜山に登ったことが懐かしく思い出されます。次の接近は2061年だとか。さすがにそれまでは無理でも健康に過ごせたら、と思います。皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

### 安井小学校 松岡 ゆかり

今、あっという間に過ぎ去った38年間を振り返ると、様々な人との出会いが思い出されます。初めての小学1年生担任時、授業中「いつまですわっているのですか。」と悲しそうに尋ね、衝撃を受ける私に、子どもの本音を伝え、教師の幅を広げてくれたKさん。問題行動を繰り返し、その対応に奔走した日々から十数年後、わが家を訪れ、大工として自立したと笑顔で報告し、「教師冥利に尽きる」を味わわせてくれたNさん。

また、共に手を携えて子どもを育てることにご理解とご協力をくださった保護者の皆様、教育活動の「応援団」として、常に学校を支えてくださった地域の皆様とのすてきな出会いや、たくさんの思い出も忘れることができません。一緒に勤務させていただいた先生方にも、どれほど支えていただいたことでしょうか。

最後になりましたが、ご指導いただいた校長先生方、教育委員会の皆様にも厚くお礼を申し上げます。皆様、ありがとうございました。

### 江並中学校 片桐 一

教員生活38年間のうち、大垣市内の中学校で25年間お世話になりました。多くの先生方、保護者や地域の皆様に支えていただき、たくさんの子どもたちと出会うことができたことに心より感謝申し上げます。

この時期になって、教職の素晴らしさは「創造できること」ではないかと私は昨今思っています。例えば、数多ある素材の中から宝物を見出し、その魅力を上手に引き出して味わっていくこと、そしてまわりの子どもや大人と一緒に新たな価値を創っていくこと…。

校区を流れる杭瀬川や河川敷を活用したプロジェクトの提言、県下最大の昼飯大塚古墳を舞台にした活性化プランの発表、子どもとともに胸を躍らせ取り組んだ記憶が蘇ります。

その一方で、「こうすればもっと良くなるかも」という思いが今でも浮かんできます。「どこまでも続く未完成を追い求める」、それもまた教職の魅力ではないかと思えます。

### 静里小学校 不破 千鶴

今年退職の年に、初任地でもあった徳山のダムに、引率で訪れ子ども達の声でざわつく中で、40年前にタイムスリップしていました。不安で赴いた徳山の地で温かく迎えて頂いた方々のおかげで頑張ってきたことが思い出されました。

養護教諭という職務は、日々緊張と心配の連続で、今でもあのときの処置対応は十分だったのかとふと思い出すことがあります。けがをした児童に何気なく話した言葉を20年経った今も覚えていると言われ、けがで心細かった時にやさしく寄り添えたのだろうかこの40年を振り返って反省の日々です。子ども達が大人になった時に、自分や周りの人たちの体を考えることを願って日々指導してきました。未来を切り開いていく子ども達には自分を大切に生きてほしいと願っています。

最後に、悩みや研究を共に語り合った部会の皆さん、丁寧に対応して頂いた教育委員会の皆様、職員の皆様ありがとうございました。

### 北小学校 田中 米夫

大垣市では、小学校4校、26年間お世話になりました。それぞれの学校に特色があり、自分なりに学ぶことも多く、そこで出会った先生たち、子どもたちからもいろいろと教えられ、教育観を広げることができたように思います。

江東小学校在職中には、教職員海外研修としてオーストラリアに行かせていただいたことも心に残っています。

多くの子どもたち、先生方、保護者や地域の皆様に温かく見守っていただき、数え切れないほど支えられ励まされ続けてこられた教員生活でした。様々な人との出会いが自分にとってかけがえのない宝物であり、財産となりました。皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後も出会いを大切に、健康第一に過ごしていきたいと思えます。

### 北小学校 矢野 美千代

長年、教員として勤務させていただいて、今年度は、節目を迎えるという思いでスタートをきりました。幾度となく経験してきた4月の出会いは、やはり緊張感があり、新鮮で身の引き締まるものでした。日々を慌ただしく送る中でも、一喜一憂しつつ前向きな気持ちになれることが多かったです。それは、教職の魅力ともいうべき、人と向き合い、支え合い、感動を共有できる場面に多く出会える機会があったからです。年数を重ねても変わらないときめきや感動は、「続けていてよかった。」と実感できる瞬間でした。「相手が去ってしまってからでは、やりたくてもできない。相手のために、今行おうべきことを考えて最善を尽くす。後悔しないように。」という先輩方のお言葉が印象に残っています。先を見通せず、至らない面が多いですが、心の糧としていきたいと思えます。これまで、純粹で懸命な眼差しや、温かい微笑みを自分に向けてくださった皆様に感謝申し上げます。

### 宇留生小学校 有尾 淳子

初任の学校は揖斐郡の藤橋中学校。3年生の副担任。クラスの人数は5人。自然豊かな環境の中で、地域の方とふれ合い、家族のように温かい職員室の先生方にお世話になりながら始まった教員生活。あれから38年。いろいろな経験やたくさんの人に出会えたことが私の宝ものです。

特に赤坂校区では、小学校と中学校合わせて17年間お世話になりました。ふるさと学習が始まり、地域の素晴らしさを子ども達と共に実感しました。金生山のどんぐり拾い。杭瀬川の蛍を守る活動。石灰工場と地域との関わり。素晴らしい紅更紗の大理石細工。中山道の町並み。虚空蔵さんの算額。温故焼の継承者の方のお話等々。たくさんの方にお話を聞きふるさとを大切に思う心は素敵だと感じました。

たくさんの人や子ども達と関わり、自分自身が成長でき心豊かになれた、教員という職業を選んで良かったと思えることに感謝したいです。

### 宇留生小学校 西科 彰浩

美濃加茂市の中学校で教員生活をスタートさせて以来、37年の年月が流れました。その間、4つの市町村で勤務し、とりわけ大垣市には、28年間お世話になりました。

私は、社会科の教員だったので、現場で取材をしたり、子どもたちと見学に出かけたりするのが好きでした。学校に来て頂いたりテレビ電話でお話を伺ったり多くの方にお世話になりました。子どもたちが興味深く学習に取り組んでくれた時は、嬉しく感じました。

中川小学校では、簡単な英単語でも、適切な活動の場を用意し、相手に反応することを大切にすれば楽しくコミュニケーションができることを知り、目から鱗が落ちる思いでした。

最後の2年間は、特別支援教育を担当し、個に応じた支援を学ばせて頂きました。

今まで私を育ててくださった子どもたちや先生方をはじめ多くの方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 綾里小学校 岡部 浩二

初任校だった可見市の中学校から38年。これまでに、小学校1年生から中学校3年生まで全ての学年の担任をする機会をいただきました。さらに近年は、特別支援学級や通級指導教室の指導にも携わることができました。改めて振り返ると、これだけ多くの経験をするためには、初めて担当する機会をいただく度に、周りの先生方に仕事の内容を繰り返し教えていただいていたということになります。様々な指導や助言をしてくださった先生方には、大変感謝をしています。皆様と出会えたことで、貴重な経験を積み重ねることができました。

また、今日までに私と関わりをもってくれた子どもたちと、それを温かく見守り、支えてくださった保護者の方や地域の方々に対しても、感謝の気持ちでいっぱいです。

皆様のおかげで、教員として最後まで勤めることができました。今まで、本当にありがとうございました。

### 荒崎小学校 安藤 修一

「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、社会人として教職に就いて、はや定年を迎えることとなりました。自分自身、まだまだ、心身ともに若いつもりでいたので、定年を迎える年齢になった実感がありません。

さて、定年を迎えるにあたって思うことは、まず、多くの方々に大変お世話になったことです。毎日、精一杯努力してきたつもりではありますが、失敗することも度々あり、周りの人たちにたくさんご迷惑をかけてきました。

しかし、そういった身近な人たちのおかげで、ここまで頑張ってきたのだと強く感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

次に思うことは、教職に就いて本当によかったなと感じることです。それは、日々、児童生徒と関わり合いながら、多くのことを学ぶことができ、一番の財産となったことです。

これまでお世話になった方々に、感謝の気持ちを申し上げます。有難う御座いました。

### 一之瀬小学校 岡田 弘治

初任校は平田町立今尾小学校（現海津市）でした。講師としての採用で6月の初めからでした。その月の下旬には海西小と合同で関ヶ原自然の家で宿泊研修が行われました。そんな中で初めての通知表所見の作成と重なり下書きの紙を持参しました。子どもが寝静まった夜に、たくさんの先輩方に教えて頂きながら、なんとか完成できたことを覚えています。何も知らないとは恐ろしいもので、若い頃に自分が行っていたことをふと振り返ってみると、今となってはとんでもないことをしていたと恥ずかしくなるばかりです。

年月を重ねやっとなんか最近できるようになったことばかりで、後輩に教えられるようになった頃にはもう退職です。退職の日が近づくごとに「あー、もうすぐ終わりなんだな。」と寂しい思いがあふれてきます。

多くの先生に支えられながらここまでやってこられたことを本当に感謝します。誠にありがとうございました。



## 令和4年度 大垣市教育実践研究論文

3月15日（水）に、令和4年度大垣市教育実践研究論文賞状伝達・奨励金交付式が行われ、細江教育長から賞状と奨励金を授与していただきました。

入賞者は次のとおりです。

戸田氏庸賞 9名

優 秀 賞 15名

優 良 賞 47名



### <戸田氏庸賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
興文小 米津 嘉子	国語科	よりよい表現を求めて論理的に思考する力が育つ国語科学習 ～「書きたい」意欲をもち続ける仕組み作りと、ICT機器の活用による段階的な指導を通して～
南小 森岡 愛奈	健康安全	自分や他者の心身を大切にできる児童の育成 ～ICTを活用した、コロナ禍におけるストレスマネジメント教育を通して～
荒崎小 梅田 徳文	保健体育科	「分かった・できた」と児童が実感する保健体育科学習 ～ICTを活用した活動・指導の実践を通して～
牧田小 高田 直希	社会科	よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学習 ～社会的事象を「自分ごと」として捉え、社会とのつながりが実感できる指導・援助を通して～
牧田小 仙田 翼	学級経営	児童の自己肯定感を高めるための指導実践 ～目標に向かって努力する個の取組と、学級会を主軸とした自治的活動を通して～
時小 瀬古 菜月	国語科	自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する力をつける 国語科「書くこと」の授業実践
興文中 三上 巧	数学科	日常生活や社会の事象と数学の事象を関連付けて考察する生徒の育成 ～第3学年「標本調査」の授業実践を通して～
興文中 山田 茉莉	理科	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ～「探究過程の見通し～振り返り」と「つなぐ」をキーワードにした授業実践を通して～
星和中 深田 康介	社会科	「問い続ける力」を育む社会科学習の在り方 ～「指導と評価の一体化」を目指した授業づくりを通して～



<優秀賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
興文小 和田 壮平	社会科	社会的事象を多角的に追究し、社会への関わり方を選択・判断する子が育つ社会科学学習
興文小 橋川 明恵	英語科	外国語科における「論理的に思考する力」の育成 ～意欲的に自分の考えを形成、再構築し、できた喜びを実感する姿を目指して～
興文小 杉野 翼	理科	問題を科学的に解決する力が育つ理科学習 ～問い続ける子の育成を目指して～
興文小 内田 夏鈴	音楽科	音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽表現を再構成する力が育つ音楽科教育
東小 細江 快	理科	小学生における理科の有用性の認識を促すカリキュラムの開発 ～「新たな問題」を見いだす指導に着目して～
東小 室屋 智之	社会科	社会に見られる課題を把握する力を育成する社会科学学習の在り方 ～自ら課題を見いだす児童の姿を目指して～
安井小 神谷 瞳	国語科	仲間との関わりから伝え合う力を高める児童の育成 ～安心して話せる環境づくりから、事柄を順序立てて話すまでの指導実践～
川並小 辻 和子	校務事務	校務事務の円滑化がもたらすもの ～変化する働き方と教育現場～
中川小 日比 和香子	生活科	気付きの質を高める授業づくり ～ICTを効果的に活用することを通して～
赤坂小 吉川 颯真	社会科	「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、深い学びを促す社会科学学習 ～自作資料で「店ではたらく人」の活動を通して～
多良小 岡田 愛咲	図書館教育	図書館教育の内容の充実を目指して ～環境整備と委員会活動の視点から～
南中 黒田 千恵	道徳科	仲間との対話を通して、多面的・多角的に考え、議論する道徳の実践
北中 高橋 古都美	美術科	制作を通して他者とのつながりを意識する生徒の育成 ～日本の文化である和菓子を通して地域とつながる「和菓子のデザイン」の実践～
西部中 馬淵 智佳子	英語科	「書くこと」における力を育む外国語科学習の在り方 ～統合的な言語活動を通して～
西部中 権藤 菜津	保健体育科	共に学び合う保健体育科学習を目指して



<優良賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
興文小 大熊 英敬	社会科	郷土への愛情をもち、よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学学習
興文小 水谷 麻美	算数科	見方・考え方を働かせ、数学的に考える児童を育てる指導の在り方
興文小 加藤 優佳	家庭科	自分の願いに合わせて生活を工夫したり改善したりする力が育つ指導の在り方
東小 伊藤 僚悟	国語科	言葉による見方・考え方を働かせる児童を育成する指導の在り方 ～「読むこと」において、考えを深めるための手立ての究明に着目して～
東小 酒井 明彦	英語科	「自分にもできる・分かる」と思える英語科の児童の育成 ～発話量を増やすための手立ての工夫～
東小 汲田 輝士朗	保健体育科	個々の特性に合わせた課題づくりを通じた体育の見方・考え方の育成 ～児童自らICTを活用し、習得・活用・探究の学び過程の中で見方・考え方を豊かにする指導～
東小 脇原 直人	特別支援教育	特別支援教育において自己肯定感の高まりの認識を促す指導の在り方 ～順向型チェイニングと背向型チェイニングを活用した指導を通して～
西小 宮崎 愛万	国語科	ICTを活用して主体的に学習に取り組み、自ら考える力を育む児童の育成 ～児童自ら目的を明確にもち、深い学びにつながる指導～
西小 高田 華那	算数科	学びの深まりを実感する児童の育成 ～ICT機器を活用した数学的活動の在り方～
南小 杉山 央河	算数科	仲間との学び合いを通じた数学的活動の楽しさを実感する算数科指導の在り方
北小 森本 亮太郎	算数科	児童の特性に応じた手立てによる算数科の教育実践
日新小 西村 佳奈	生活科	気付きの質を高める生活科学学習 ～交流から自分の考えを広げる授業を通して～
安井小 長縄 勇汰	算数科	論理的に思考する子を育てる算数科の授業実践 ～「比較」を核としたICTの活用を通して～
宇留生小 林 野奈	国語科	学ぶ意欲を引き出す授業構成の工夫 ～漢字を用いて文章を主体的に表現しようとする子どもの育成を目指して～
宇留生小 小笠原 一輝	道徳科	特別の教科 道徳による児童の育成 ～「自ら学ぶ楽しさと成長」の実感をめざして～
静里小 安藤 真菜	国語科	相手意識をもって話す力の素地を育成する国語科指導のあり方
静里小 村瀬 陽大	総合的な学習	プログラミング的思考を育む授業づくり ～試行錯誤して、よりよい方法を求める児童を目指して～
静里小 山田 京佳	総合的な学習	プログラミング的思考を育む授業づくり ～タブレット端末を活用して、生き生きと自分の考えを表現する児童の育成～
江東小 浅井 しらべ	社会科	社会科教育におけるICT活用 ～ICT機器を有効に活用し、主体的・対話的・深い学びの授業を目指して～
江東小 加藤 詩音	特別支援教育	自閉症・情緒障害特別支援学級における教科指導 ～児童が意欲的に取り組める学習教材の工夫～
川並小 秋澤 かおり	学級活動	健康作りに関心を持ち、生活習慣の意識を高める歯科保健指導の工夫
川並小 水谷 誌郎	特別活動	自ら進んで、工夫しながら活動を進めることができる児童の育成
中川小 渡辺 瑛大	外国語活動	タブレット端末を活用した小学校外国語活動 ～相手意識をもってコミュニケーションを図る児童の育成～

<優良賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
中川小 伊藤 和宏	算数科	場面のイメージから立式の根拠を見出す算数学習の在り方 ～主体的に学び、数学的な見方、考え方ができる児童の育成～
小野小 高橋 咲衣子	外国語活動	誰とでも自分の思いを伝え合える外国語の授業の実践
小野小 坂口 敬大	国語科	一人ひとりの児童が「できた」「分かった」と実感できる国語授業づくり ～様々なしなげづくりを通して～
小野小 松永 和也	学級経営	特別支援学級（単学年の知的学級）の学級経営・学習支援 ～「生きる力」の育成を実現する、様々な場面でのタブレット端末活用の在り方～
小野小 青木 佳代子	学級経営	仲間や自分の気持ちを理解し、見通しをもった行動をする児童の育成 ～様々な行事、普段の生活を通して～
小野小 清水 彩乃	音楽科	音楽の授業における言語表現の工夫 ～鑑賞の授業において聴取したことと感受したことをつなげて話すことができる子の育成～
荒崎小 伊藤 麻衣	社会科	主体的に学習の問題を解決しようとする子を育てる ～主体的・対話的で深い学びを実践する社会科の授業を通して～
青墓小 加納 滉平	保健体育科	嫌いを好きに変えるバレーボールの授業実践 ～ACP(アクティブチャイルドプログラム)と用具や場の工夫を通して～
青墓小 水戸 彩乃	算数科	算数科において、筋道を立てて考える児童の育成 ～自分の考えを表現する授業を通して～
一之瀬小 大橋 隆博	社会科	ICT活用1人1台端末を効果的に活用する社会科教育 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～
墨俣小 北村 知子	算数科	主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用の在り方
興文中 國枝 秀祐	英語科	主体的な学習者の育成 ～「楽しい」を入り口に「できる」「分かる」体験を「好き」へつなぐ～
東中 恩田 隆輝	理科	理科を学ぶことの有用性を実感できる生徒の育成 ～「理科の見方・考え方」を働かせる授業実践を通して～
東中 太田 勇治	社会科	定期テスト廃止に伴う、指導と評価の一体化に向けて ～ICTを活用した新しい授業デザインの挑戦と評価方法の工夫を通して～
東中 後藤 翔	情報教育	「情報モラル教育からデジタル・シティズンシップへの変換」 ～主体的な行動選択ができる生徒の育成を目指して～
東中 森崎 朝	社会科	「社会的な見方・考え方」を働かせた思考力・判断力・表現力等の育成 ～復習タイムと単元のまとめによる深い学びの実現～
南中 森田 愛珠	国語科	生徒一人一人が自己の成長を実感できる国語科指導 ～誰一人取り残さない授業を目指して～
北中 和田 光平	国語科	読みを生かす「書くこと」の授業 説明的文章の読みの授業から
江並中 潮田 航大	保健体育科	男女共習体育における主体的・対話的で深い学び ～配慮事項やICT機器の活用を通して～
赤坂中 堀井 智央	数学科	生徒の主体性や創造性を最大限に引き出す数学科学習 ～ICTを活用した言語活動の充実により、自らの学びを広げ、深める生徒の育成～
西部中 清水 拓実	英語科	文法習得における外国語科学習の在り方 ～小集団活動とICTの機器の活用を通して～
星和中 杉山 貴洋	数学科	数学を使って主体的に学ぶ生徒の育成 ～「指導と評価の一体化」から個の学習定着率の向上を図る～
上石津中 古賀 愛華	健康安全	“コロナ禍”における健康づくり ～感染症対策と歯科保健活動との両立を目指して～
上石津中 伊藤 竜司	社会科	社会問題を自分事として捉え、主体的に学ぶ生徒の育成